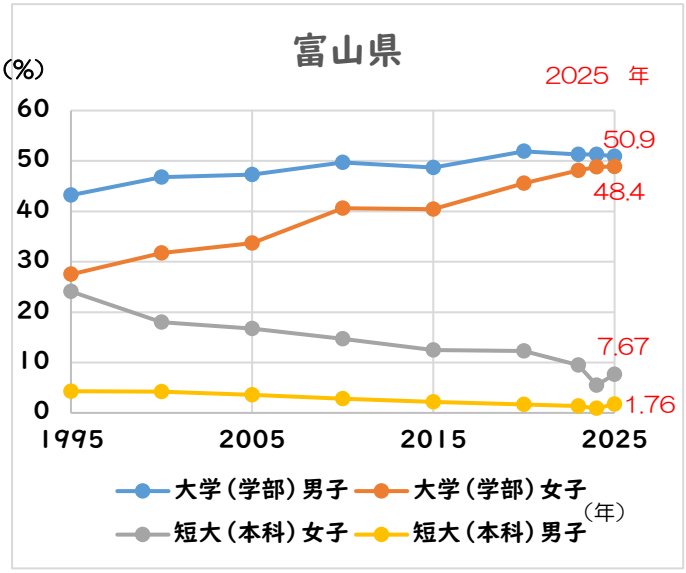
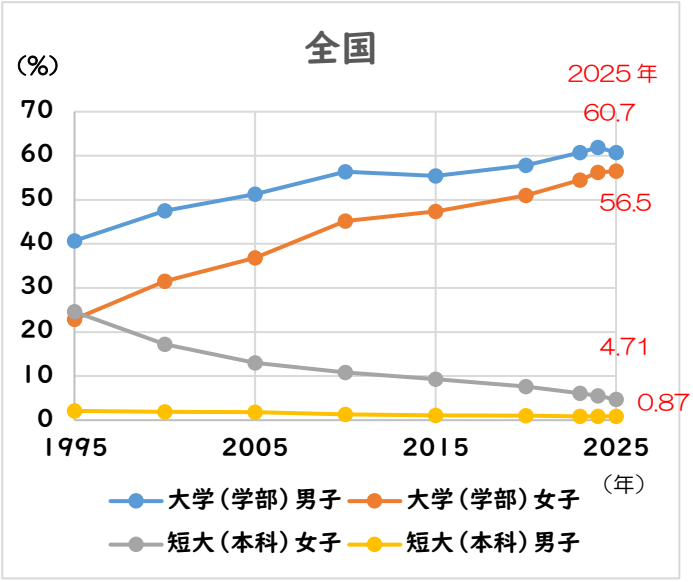
2 教育と就労

2-1　大学（学部）・短期大学（本科）進学率の推移

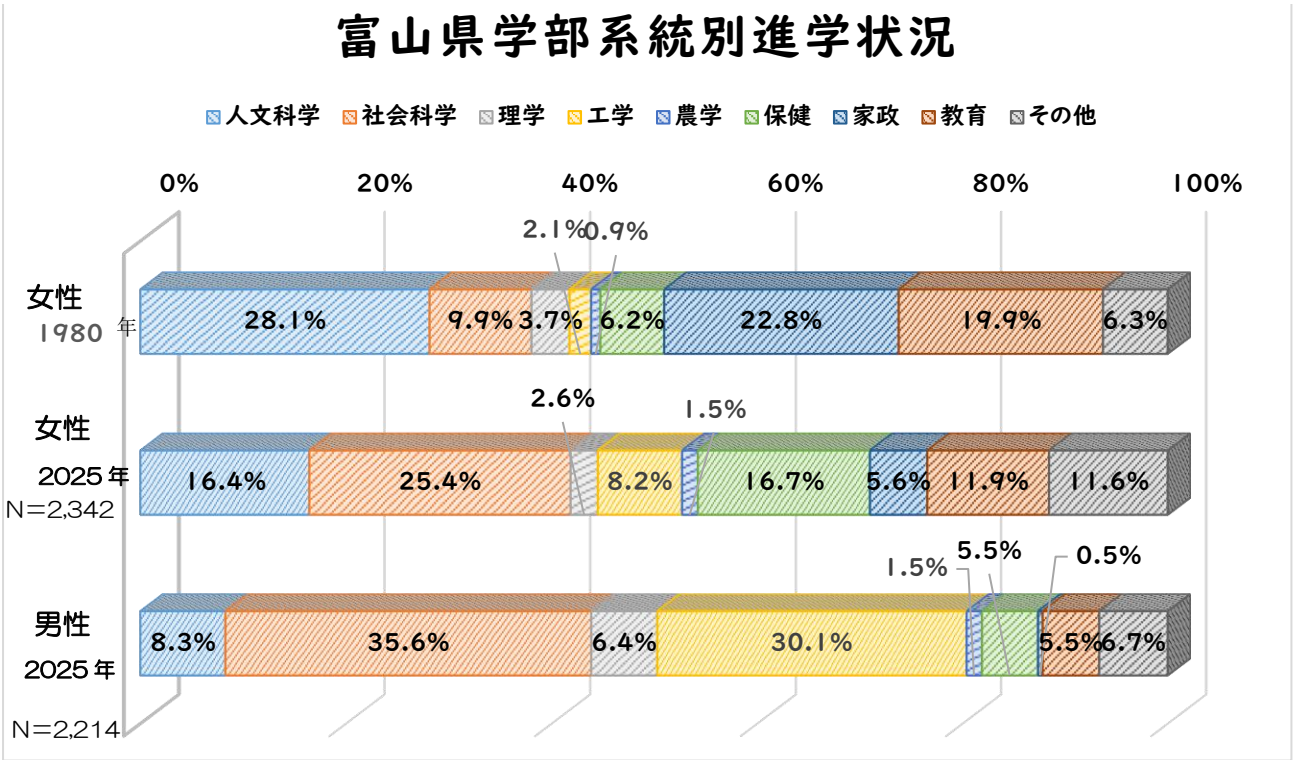




資料：文部科学省「学校基本調査」

注　3 年前の中学校・義務教育学校・特別支援学校・中等教育前期課程修了者の合計の内の進学者割合（2025 年）

2-2　女性の大学学部・短大本科の学部系統別進学状況



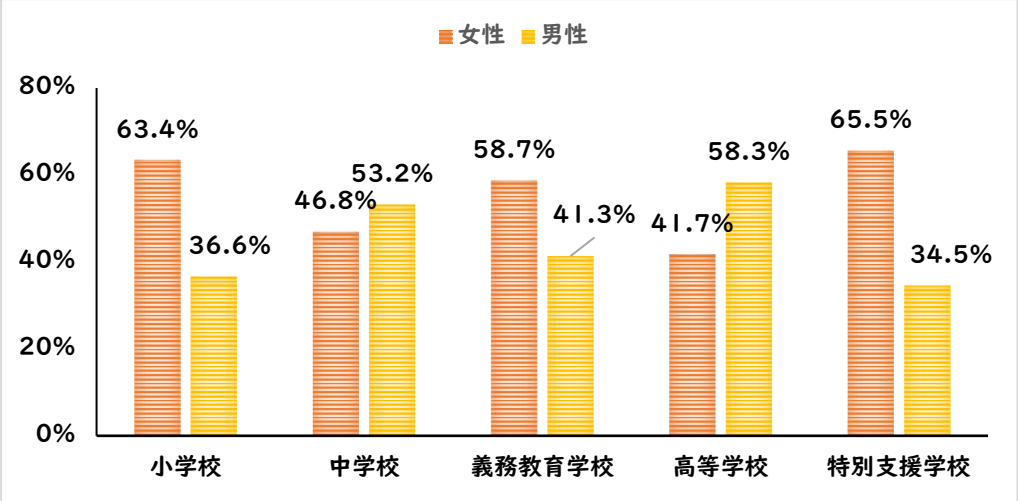
資料：富山県教育委員会「県内高等学校卒業者進路状況調査」 各年卒業者

注 「農学」には農業、水産学、「保健」には医学、歯学、薬学、看護学、医療衛生学が含まれる。

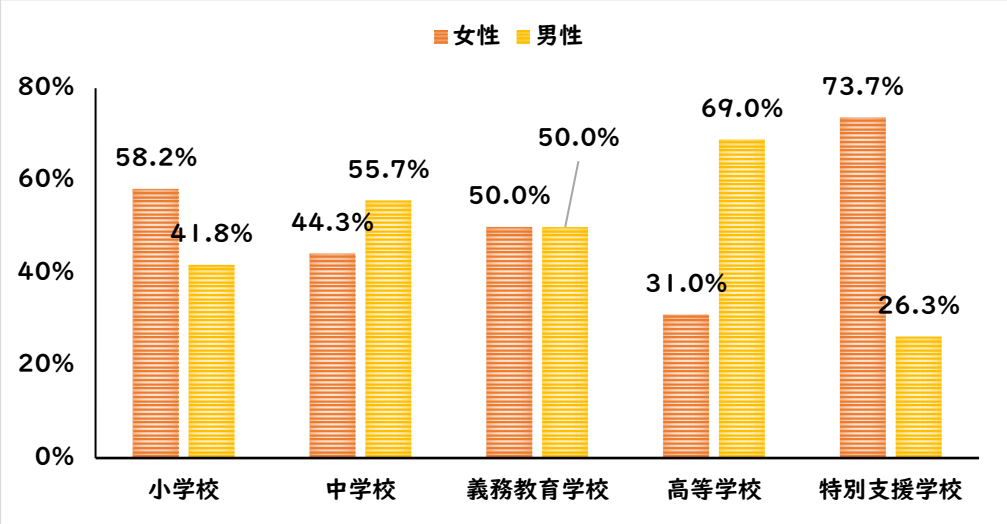
近年、女性の大学（学部）進学率が高くなってきています。富山県の女性の学部専攻分野をみると、人文科学、社会科学、教育で 53.7%を占め、理学、工学分野ではわずか 10.8%にとどまっています。

2-3　小・中・高・特別支援学校の女性教員および登用割合（2025年5月1日現在・富山県）

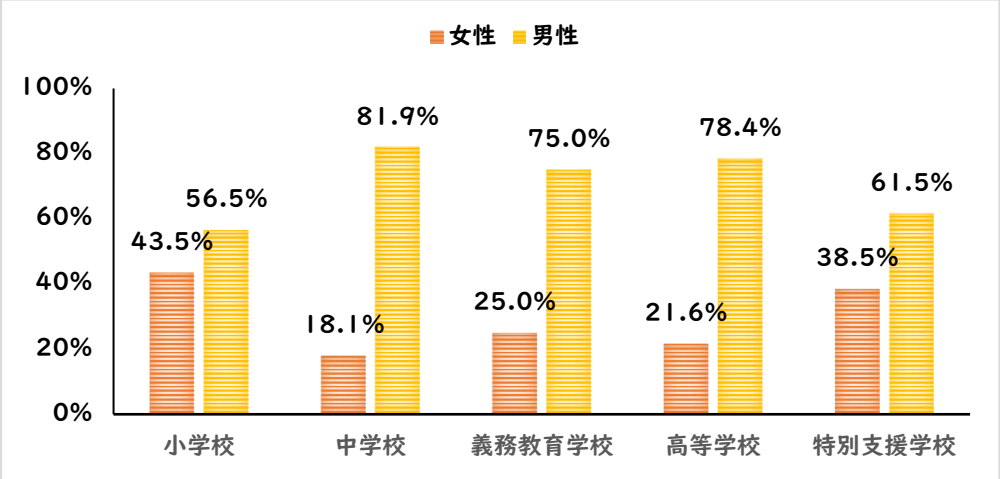
①　女性教員の割合



②　女性教頭の割合



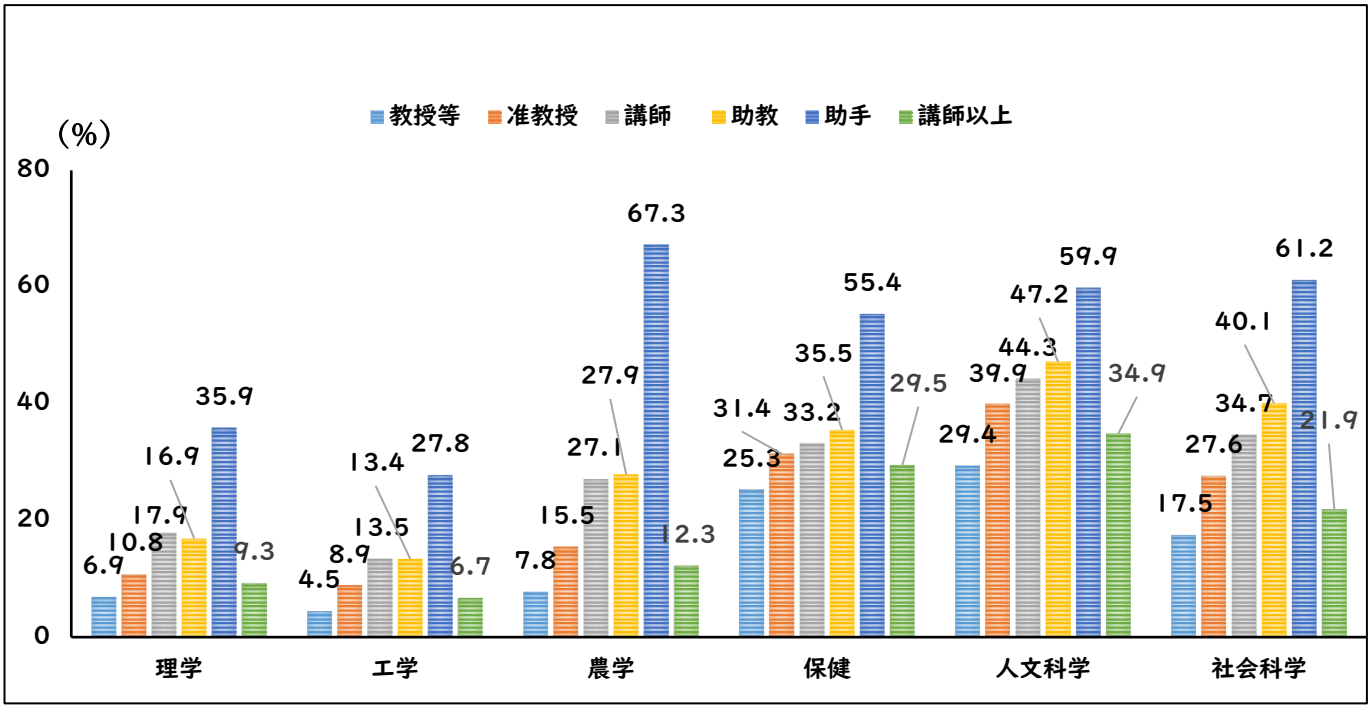
③　女性校長の割合



資料：文部科学省「学校基本調査」

2-4　大学等における専門分野別教員の女性割合

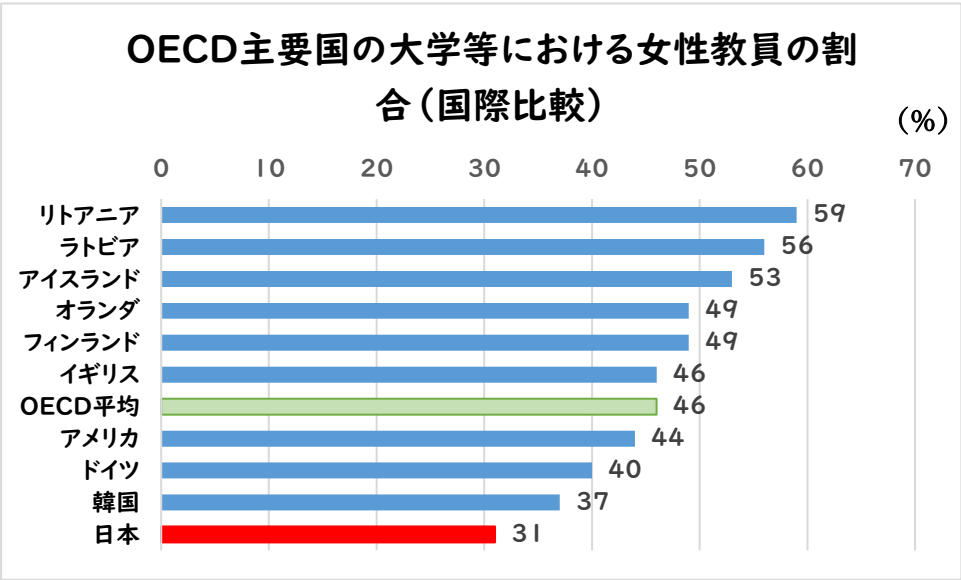
（2022 年度　全国）



資料：文部科学省「学校教員統計調査」2022 年度より
「大学等」は大学の学部、大学の研究科、附置研究所（国立のみ）、学内共同教育研究施設、共同利用、共同研究拠点、附属病院、本部（学長・副学長及び、学部等に所属していない教員）「教授等」は、「学長」、「副学長」及び「教授」の合計。「講師以上」は「教授等」「准教授」「講師」の合計

助手の時点では女性の割合が高く、職位が上がるほど女性職員の割合が低くなっています。

参考



資料：OECD「education at a glance2025」より作成。大学及び大学院相当の値（短期大学は含まない）

比較可能な OECD 加盟国の中で、日本は大学等における女性教員の割合が最下位になります。